

ビジネス英語、
差をつけるなら



日商ビジネス英語検定

2023年度
第1回試験

10月15日(日) 自宅PCで受験するIBT方式
約30分の試験。複数時間枠から選択

受験料 **6,600**円(税込)

申込受付 **9月5日(火)～29日(金)**

時代に合わせて
全面リニューアル



1つの試験でスコア判定

スモールトーク	プレゼンテーション	
ビジネス ミーティング	ビジネス 実務知識	語彙・教養

60問で5つの分野をカバー

受験申込・サンプル問題は公式ホームページで

<https://www.kentei.ne.jp/english>

日商ビジネス英語

検索



第2回試験は2024年2月4日(日)
申込受付 2023年12月中旬～2024年1月中旬(予定)



日本商工会議所
The Japan Chamber of Commerce and Industry

ビジネス英語、差をつけるなら

ビジネスにおける英語コミュニケーションの課題

- ビジネスで英語を使う社会人からは、「英語のプレゼン資料は、時間がかかったとしても何とか作ることができる。会議でも予め用意したメモを英語で読み上げることができる。しかし、相手の話をその場で理解して即答することが難しい」「英語での日常会話や仕事でそれほど困ることはないが、相手との距離を縮めるスモールトークが苦手である」などの声が聞かれます。

新しい形式の英語試験に期待

- こうした力を身につける手段として、「ビジネスシーンで必要とされる英語力を測定・認定する試験があれば活用したい」「会議、旅行などではなく、交渉など複雑な場面設定の試験があれば挑戦したい」などの声が寄せられています。また、そのような試験を「会場に向かず自宅などで受験できる」ことが求められるようになっていきます。

時代に合わせて全面リニューアル

- 日本商工会議所・各地商工会議所は、「産業人材の育成」を目的とし、日商簿記・日商珠算をはじめ各種検定試験を長年にわたって施行しています。その一つである「日商ビジネス英語検定」は、1962年創設の「商業英語検定」を源流とし、2004年から現在の名称で試験を実施してまいりました。
- 従来の「日商ビジネス英語検定」では、主に貿易書類や英文レター等の定型に沿って「書く力」を重視してきましたが、ニーズの変化を踏まえ、試験の内容・形式をリニューアルすることとしました。



4つのキーワード

今回のリニューアルのポイントは次のとおりです。

1. 「**即答力**」が求められる実際のビジネスシーンを想定した出題
2. 「**スピーキング・リスニングを含む英語力**」を一つのテストで測る
3. 「**スコア制**」により実力の伸長度がわかりやすく（級別の合否判定から得点でのレベル判定に移行）
4. 「**自宅のパソコンで受験**」するIBT方式（Internet Based Testing）を採用

本検定で問われる力

- 実際の国際ビジネスにおいて、企業内外の利害関係者と円満な人間関係を構築し、ビジネスの目的達成を果たすために必要な、英語による即時回答力を重視しています。
 - ▶ ビジネスで直面するシチュエーションにおいて、即時かつ正確に相手の発言内容を理解し、的確に応答することのできる力
 - ▶ 相手との距離を縮めるスモールトーク（世間話や気軽なジョークなど）ができる力
 - ▶ 文化的・哲学的・歴史的背景に基づくキーワード・キーセンテンスを理解し、適切に引用できる力
 - ▶ ビジネスに関する提案を承諾してもらうための、英語による論理的かつ具体的な表現力・説得力（交渉力）
 - ▶ 貿易実務、経営学、マーケティング、ビジネスに関わるような時事を理解し、ビジネスに活用することのできる力

このような方にオススメ！

- ビジネス英語に特化した試験で、腕試しをしたい方
- 英語を「読む・聞く・話す」力を総合的に測りたい方
- 試験会場が遠く、これまで受験をあきらめていた方

